

室蘭工業大学-学報

NO.603



第43回蘭岳コンサートの集合写真（4ページに関連記事あり）

2020年 1月号

目 次

◇ 学内の動き ◇

学長の年頭挨拶	1
寄附講座「未利用資源エネルギー工学講座」が中間報告会を開催	3
第49回室蘭工大国際セミナーを開催	4
第43回蘭岳コンサートを開催	4
アカデミックハラスメント防止講演会を実施	5
サークルリーダーシップトレーニングを実施	5
交通安全等講習会を実施	6
大学訪問の受入れ	7

◇ 情報・資料 ◇

董晃雄教授と太田香准教授がHighly Cited Researchers 2019に選出	8
---	---

◇ 外部資金 ◇

民間等との共同研究の受入れ	9
受託研究等の受入れ	9
奨学寄附金の受入れ	10

◇ 人 事 ◇

人事異動	11
表彰	12
計報	13

◇ 学内会議 ◇

学内各種委員会等の開催	14
-------------	----

◇ 日 誌 ◇

学内行事	15
学外行事	15

学内の動き

学長の年頭挨拶

学長 空閑 良壽

確かな研究力をベースとした教育力

教職員の皆さま、明けましておめでとうございます。

年末年始の10日間のお正月休みの間、皆さまよりフレッシュされて、令和2年を迎えられたことと思います。

本日は、令和2年度の予算情報とともに、本年が第3期中期目標期間の4年目そして5年目となる仕上げ期間として非常に重要な時期となりますので、あらためまして、本年、取り組むべき課題についてお話しさせていただきます。

まず、令和2年度の予算関連の動きをご紹介します。本学の施設関係の大きな予算として、学内の安心・安全対策の一環として、老朽化が進んでいた学内全体の道路舗装整備費が措置されました。他大学にもおおむね同様な措置がされています。

そのほか研究面では、機能強化経費（共通政策課題分）として今回初めて、航空宇宙関連で共同利用・共同研究体制の充実として、ロケットスレッド実験設備を活用したLiner Hyper-G環境学術領域の創成が、さらに基盤的設備等整備分として、航空宇宙用エンジン統合実証研究設備費がつけました。本学が力を注いでいる航空宇宙関係の研究・教育の活性化にはたいへん素晴らしいお知らせです。

国立大学法人全体の運営費交付金等総額は、平成16年度の法人化以降28年度までに20%程度下がり、令和2年度は約1兆1,000億円となり、そのうちの約10%すなわち1,100億円が競争的評価予算枠となり、本学でいえば2億5,000万円以上の大きな金額が評価配分対象となります。

昨年も申し上げましたように、教員の人件費に換算するとおよそ25人分の金額を競争的に獲得する必要があることとなります。また、少子化により18才人口の減少が顕著となる一方で、進学率の上昇も鈍化が始まり、センター試験受験者数は2018年をピークとして減少に転じています。質の高い志願者の確保は、国立大学全体の喫緊の課題です。このような背景の下、本学は北海道に位置する国立の工業大学としての機能や特徴を大きく打ち出して、その存在価値を高め、社会にアピールしていくことがこれまで以上に重要であることは言うまでもありません。

本学は、昨年4月より「工学部」から学士（工学）と学士（理工学）を輩出する創造工学科とシステム理化学

科の大きくくりの2学科体制の理工学部へと大きな教育改革を行いました。ここではまず、ものごとの本質をつかみ、探究心を養うために自然科学・理学教育を全学的に充実させました。さらにICTやAIの本質を理解して使いこなすMONO・価値づくりに貢献できる学生諸君を育てる工業大学ならではの情報教育を、学部共通そして学科共通の必修科目を多数充実させることに全学体制で推進しています。今後はその実質化が重要であることは言うまでもありません。さて、本学の教育を推進する際のkeyとなるものは何でしょうか？

私は本学の強みは、「確かな研究力をベースとした教育力」にあると強く信じています。例えば、世界的論文のデータベースの一つであるScopusに登録された論文数でみると、平成16年の法人化以降、第1期6年の平均は164報/年、第2期6年の平均は203報/年、第3期（H28-30までの3年間）の平均は255報/年と着実に増加しています。

さらに、論文の質（分野補正をした被引用数が高い論文）を考慮したFWCI×論文数でみると、この傾向はさらに顕著になり、第1期6年の平均は107 point/年、第2期6年の平均は145 point/年、第3期（H28-30までの3年間）の平均は335 point/年と飛躍的に向上しています。

また、世界のTop10%の論文数でみても、ほぼ同様な傾向であり、第1期6年の平均は年間9報、第2期6年の平均は年間13.7報、第3期（H28-30までの3年間）の平均はなんと年間30報と素晴らしい増加傾向です。

ロンドンに拠点を置くTimes Higher Education (THE) のTHE世界大学ランキング（「研究力」を主な指標として、Teaching, Research, Citations, Industry Income, International Outlookの5つの観点から評価される）では、2018年9月に1001+位で初めてランクインし、昨年9月には軒並み日本の主要大学が苦戦する中、801～1000位に上昇しました。この結果は、全国の国立大学では13位タイであり、道内大学では北大に次いで、札幌医大と並んで2番目です。

我々のよく比較対象となる11工科系大学（北見工大、室工大、東工大、電通大、東京農工大、東京海洋大、名工大、豊橋技大、長岡技大、京都工繊大、九工大）でみると、TOPの東工大に次いで、東京農工大と並んで2位であり、他の大学よりも上位にいます。

これは単に評価の一つの切り口であり、他大学にこれから追いつかなければならない観点（教員一人あたりの

学内の動き

論文数や外部資金獲得額など)も多数ありますが、私は大変素晴らしいことと捉えています。

加えて、コンピュータ科学分野の論文被引用指数は、なんと2年連続で日本一に輝いています(朝日新聞出版大学ランキング2019年度版, 2020年度版)。さらには、情報系の董冕雄教授と太田香准教授が科学・社会科学分野における世界最高峰の研究者を選出したHighly Cited Researchers 2019 (Clarivate Analytics) に選出されており、コンピュータ科学分野では日本から3名のうち2名が本学という快挙でありました。このコンピュータ科学分野の優れた研究力は必ず本学の教育力に活かされると大いに期待しています。

一方で、北海道地域への研究面からの貢献・活躍も素晴らしく、2016年度から2019年度まで4年連続で若手教員が北海道科学技術奨励賞を受賞しています。徳楽清孝准教授は認知症予防に関してバイオエンジニアリング×情報学で、有村幹治准教授は都市計画に関して土木×ビックデータで、山中真也准教授は家畜伝染病予防に関して農業×微粒子工学で、董冕雄教授は災害支援システムに関して、防災×IOTという、それぞれが専門を活かした分野×情報工学の融合分野でラボラトリのリーダーや主要メンバーとして活躍しています。

地域中小ものづくり企業を結集させ室蘭工大がまとめ役となる清水一道教授の鋳物シンジケートの取り組みもイノベーションネットアワード2019において文部科学大臣賞を受賞しました。さらには、岸徳光特任教授の社会基盤管理工学講座と板倉賢一特任教授の未利用資源エネルギー工学講座という2つの寄付講座の活動も大いに地域に貢献いたしております。

また、有力企業の人事担当者から見た学生諸君の印象も好評であり、北海道・東北地域で5位、全国で33位(日経キャリアマガジン特別編集 価値ある大学2020年版就職力ランキング(2019年6月/日経HR) 企業の人事担当者から見た大学イメージ調査)に入っています。

さらには、卒業生の活躍となりますが、一級建築士合格者(国家試験)数は、北海道・東北地域で3位、全国で38位(朝日新聞出版 大学ランキング2020年度版)、

技術士の合格者でみると、北海道・東北地域で5位、全国で48位(朝日新聞出版 大学ランキング2020年度版)と、本学の実学面での強さも目立っています。

ここにあげた本学の最近の活動、強みはほんの一例であり、まだまだ沢山あると思います。このような強みは、これまでに輩出した3万余名の卒業生の社会での活躍と本学の先生方のevidenceに基づいた「確かな研究力をベースとした教育力」にあります。

この強みを活かして、優秀な学部そして大学院の入学志願者の確保が最重要の課題であります。さらに一步踏み込むと、優秀な留学生の確保とダブルディグリー制度の整備など、グローバルな環境を整えることが課題です。

そして、本学を選んでくれた学生諸君を、確かな研究力をベースとした教育力で大きく育てていきましょう。

そのほか、本学がまだまだ弱い、科学研究費や公的補助金、民間との共同研究などによる外部資金の獲得、全体的な論文数の底上げも重要な課題であり、教員及び職員の皆さんお一人、お一人の力の結集が重要です。

理工学部への改組の趣旨を十分に盛り込んで、本学の、そして北海道の研究の未来像を夢を持って語るMONOづくりビジョン2060も昨年6月に発表しました。この中でも、従来の研究センター以上に、より柔軟で機動的なMONO情報基盤技術部門とソリューション部門のラボラトリ制を導入して、本学の研究の活性化を推進したいと考えております。

先ほど述べた4人の若手教員もこのラボラトリの主要メンバーとしてご活躍していただいておりますし、さらに岸上順一教授、渡邊真也准教授らのAIラボラトリは、本学が力を入れている組織対組織の企業との包括連携においても引っ張りだこの大活躍中です。

もちろん私を含めた執行部は、優秀な教員・職員をサポートする支援体制を含めた研究環境を充実させる努力を惜しみません。

今年は皆さん一丸となって、室蘭工大の飛躍の年としましょう。



挨拶をする空閑学長



年頭挨拶の様子

寄附講座「未利用資源エネルギー工学講座」が 中間報告会を開催

令和元年12月21日（土）、寄附講座「未利用資源エネルギー工学講座」の中間報告会を開催しました。

本寄附講座は、ニューデジタルケーブル株式会社、太平洋興発株式会社、株式会社アクアジオテクノ、岩田地崎建設株式会社、特定非営利活動法人地下資源イノベーションネットワーク、一般社団法人北海道環境保全技術協会の6社により、地方創生につながるハイブリッド石炭地下ガス化（H-UCG）の実証試験の実施及び未利用資源エネルギー等に関連する技術開発に資するため、平成31年4月1日に開設されました。

報告会に先立ち、「AIと学習モデル～基礎と応用事例」と題して特別講演会（参加者43名）が開催され、本寄附講座の兼任教員である塩谷浩之教授がAIの学習モデルの解説から、医療や水産における活用事例、さらには室蘭イタンキ浜の鳴り砂成分のAI分析について講演しま

した。

報告会では、本寄附講座の担当教員である板倉賢一特任教授から本寄附講座の概要説明があった後、ハイブリッド石炭地下ガス化（H-UCG）について、石炭のガス化における

- ・CO₂発生問題や安全性の確保
- ・発生したCO₂の積極的な利活用に向けた実証試験プロジェクト

の説明があり、最後に今年度の活動実績と今後の計画について報告がありました。

本寄附講座の研究成果は、わが国の旧産炭地のみならず、アジア圏をはじめ、世界の多くの国々で活用可能になること及び新たなビジネスモデルを生み出すことが期待されています。



講演する塩谷浩之教授



報告会の様子



説明する板倉賢一特任教授



第49回室蘭工大国際セミナーを開催

令和元年12月13日（金）、教育・研究3号館N101室において、本学教職員、学生及び一般市民を対象として第49回室蘭工大国際セミナーを開催しました。

今回は、野口材料技術コンサルタント主宰で元室蘭工業大学国際交流センター長の野口 徹氏を講師としてお招きし、「大学・社会にとって国際交流がなぜ必要なのか」をテーマに、留学経験のある学生に対して実施したアンケートの調査結果などを用いて、大学・社会における国際化の必要性について講演いただきました。

参加した50名の本学教職員、学生及び一般市民が講演者の話に耳を傾け、質疑応答の際は熱心に意見交換を行っていました。



講演する野口氏

第43回蘭岳コンサートを開催

令和元年12月21日（土）、大学会館多目的ホールにおいて、第43回蘭岳コンサートを開催し、教職員、学生及び市民約160名が演奏を楽しみました。

今回は、柳 真也さん（ベース）、舘山健二さん（ドラム）、山下ヤスシさん（ピアノ）にご出演いただき、本格的なジャズのナンバーを演奏していただきました。

また本学ジャズ研究会の佐藤 輝さん（アルトサクソフーン）、沼田和希さん（トロンボーン）、榎 未晴さん（トランペット）がセッションに加わる場面もあり、色彩豊

かな演奏会となりました。

今回のコンサートにおいて、北海道胆振東部地震災害義援金への募金をお願いしたところ、皆様から寄せられた義援金は、45,350円となりました。お寄せいただいた義援金は、全額を「日本赤十字社北海道胆振東部地震災害義援金」の口座に振り込みました。

ご協力いただきました皆様に厚くお礼を申し上げますとともに、ご報告を申し上げます。



コンサートの様子
(左から 山下氏、柳氏、舘山氏)



コンサートの様子
(本学ジャズ研究会とのセッション)

アカデミックハラスメント防止講演会を実施

令和元年12月11日（水）、大会議室において、アカデミックハラスメント防止講演会を実施しました。

この講演会は、最近のハラスメント問題の特徴や具体的事例を学ぶことで、ハラスメント防止についての意識を高揚させ、状況に応じた適切な対応方法を習得することを目的として実施したものであり、株式会社フォーブレン代表取締役であり、特定社会保険労務士・産業カウンセラーの稲好智子氏を講師に迎えました。

また、今年度は教員及び係長以上の職にある事務職員の出席を義務化するなど多くの教職員に参加を呼びかけた結果、教職員約130名が参加しました。

講演会は、ハラスメントの実態や事例の紹介に始まり、ハラスメントを防止するためのコミュニケーションのあり方及び教職員が注意すべき事項についての説明があり、聴講者は熱心に耳を傾けていました。



講演会の様子

サークルリーダーシップトレーニングを実施

令和元年11月30日（土）、大学会館多目的ホールにおいて、令和元年度第44回サークルリーダーシップトレーニングを実施しました。

この研修は、サークルリーダーとしての資質を養うとともに、サークルが抱える諸問題の解決の糸口を見出すことを目的として年に1回開催しています。

参加した本学公認サークルの代表者及び役職員は、日頃の活動の悩みや問題等について討議しました。



交通安全等講習会を実施

令和元年12月19日（木）、教育・研究3号館N208講義室において、令和元年度第2回交通安全等講習会を開催しました。

この講習会は、本学学生及び教職員の交通安全意識の向上を目的に年2回開催しています。今回は、講師として室蘭警察署警備課及び交通第二課の方々を招き、冬道を運転する際の注意事項等や冬休み中の防犯対策等について講演いただき、引き続き、室蘭総合自動車学校交通安全教育センター課の方から、飲酒運転の危険性について事例を交えながら講演いただきました。

参加した56名の学生は、真剣な表情で聴講していました。



大学訪問の受入れ

下表のとおり3件の大学訪問を受け入れました。

実施日	訪問学校等名	実施場所	実施内容
令和元年 11月26日（火）	室蘭市立水元小学校 （4年生）	教育・研究1号館C棟 C306号室、C307号室	情報教育センターの早坂助教の指導のもと、パソコンを使って自分の顔写真を取り込む名刺作りを体験しました。
令和元年 11月28日（木）	室蘭市立水元小学校 （5年生）	教育・研究1号館C棟 C306号室、C307号室	情報教育センターの小川准教授の指導のもと、パソコンを使ってプログラミングを体験しました。
令和元年 11月29日（金）	室蘭市立水元小学校 （6年生）	教育・研究1号館C棟 C306号室、C307号室	情報教育センターの桑田教授の指導のもと、パソコンを使ってプログラミングを体験しました。



体験学習の様子（4年生）



体験学習の様子（5年生）



体験学習の様子（6年生）

董冕雄教授と太田香准教授が Highly Cited Researchers 2019に選出

研究者の発見を加速するための知見や分析を提供するグローバルリーダーであるクラリベイト・アナリティクスは、2019年11月19日、高被引用論文著者（Highly Cited Researchers）2019年版を公表し、本学からはコンピュータ科学分野で董 冕雄（とう めんゆう）教授と太田 香准教授（文部科学省 卓越研究員）が選出されました。

Highly Cited Researchersは、Web of Scienceの論文データに基づき、論文の被引用数による上位1%論文著者を選出するもので、後続の研究に大きな影響を与えている研究者を示す指標とされます。

2019年は科学を21の研究分野に分け、全世界で6,217名の研究者が選出され、今年のノーベル賞受賞者3名を含む23名のノーベル賞受賞者も選出されています。

日本からは大学等から98名の研究者が選ばれており、本学からはコンピュータ科学分野において2名（日本全体で3名）が選出されました。

外部資金

民間等との共同研究の受入れ

研究代表者・職・氏名	相手方区分	金額 (千円)
しくみ解明系領域 助教 小林 洋介	中 小 企 業	330
合 計 (1件)		330

※大企業・中小企業の別は、中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条による。

受託研究等の受入れ

研究代表者・職・氏名	委託先区分	金額 (千円)
しくみ解明系領域 准教授 徳 樂 清 孝	そ の 他	1,000
合 計 (1件)		1,000

※大企業・中小企業の別は、中小企業基本法（昭和38年法律第154号）第2条による。

奨学寄附金の受入れ

寄附者	目的	金額 (千円)
太平洋セメント株式会社	工学研究助成	500
旭鉦末株式会社	工学研究助成	700
NJT銅管株式会社	工学研究助成	350
株式会社アトリエブク	その他	715
株式会社横河ブリッジ	工学研究助成	450
合 計 (5件)		2,715

人 事

人 事 異 動

国立大学法人
室蘭工業大学長発令

発令年月日	異 動 内 容	氏 名	現 職
令和元年12月2日	〈改名〉 (旧名：之紀)	佐 藤 ゆ き	技術部技術専門職員
令和元年12月31日	〈辞職〉	小田島 美 鶴	総務広報課係員
令和2年1月1日	〈命〉 副学長（任期：R3.3.31） 教育研究評議会評議員	董 冕 雄	大学院工学研究科教授 (しくみ解明系領域)
令和2年1月1日	〈免〉 理事補（任期：R2.3.31）	董 冕 雄	大学院工学研究科教授 (しくみ解明系領域)
令和2年1月1日	〈昇任〉 大学院工学研究科教授 大学院工学研究科教授 大学院工学研究科教授	市 村 恒 士 川 村 志 麻 小 室 雅 人	大学院工学研究科准教授 大学院工学研究科准教授 大学院工学研究科准教授
令和2年1月1日	〈任用更新〉 任用更新（任期の定めなし） 任用更新（任期の定めなし）	高 瀬 舞 佐々木 大 地	大学院工学研究科准教授 (しくみ解明系領域) 大学院工学研究科助教 (もの創造系領域)
令和元年12月10日 令和2年1月1日	〈雇用期間更新〉	今 百合子 木 藤 牧 子	総務広報課事務補佐員 大学院工学研究科事務補佐員

表 彰

令和元年12月20日（金）、令和元年度北海道科学技術賞及び北海道科学技術奨励賞が発表され、本学の董冕雄（とうめんゆう）教授が北海道科学技術奨励賞を受賞しました。

北海道科学技術奨励賞は、本道の発展に寄与することが期待される科学技術上の優れた発明、研究を行い、今後の活躍が期待される若手研究者に北海道知事表彰として贈呈されるものです。

受賞内容は、次のとおりです。

【北海道科学技術奨励賞】

董 冕 雄（大学院工学研究科 教授）

「安全・安心な地域社会のための災害支援システムの研究開発」

訃 報

名誉教授

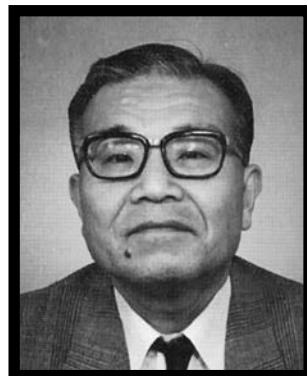
横 田 健之助 (83歳)

本学名誉教授、横田健之助氏は、去る令和元年12月1日(日)逝去されました(83歳)。

ここに、生前の功績を偲び謹んで哀悼の意を表します。

同氏は、東北大学理学部生物学科を卒業後、昭和34年4月北海道大学助手、昭和43年5月同講師、昭和51年5月室蘭工業大学助教授、昭和52年10月同教授、平成13年4月室蘭工業大学名誉教授となられ、現在に至っておりました。

専門は生化学。



学内会議

学内各種委員会等の開催

<11月25日～12月24日>

開催日時 令和元年11月28日（木）
会議名 第13回役員会

開催日時 令和元年11月28日（木）
会議名 第4回経営協議会

開催日時 令和元年12月10日（火）
会議名 第9回企画戦略会議

開催日時 令和元年12月12日（木）
会議名 第8回教育研究評議会

開催日時 令和元年12月18日（水）
会議名 第14回役員会

開催日時 令和元年12月19日（木）
会議名 第4回教授会

学内行事

- 11月25日 (月) 全学一斉構内クリーン作戦
- 11月26日 (火) 大学訪問 (水元小学校) (28・29日)
- 11月26日 (火) エア・ウォーター株式会社との連携推進協議会
- 11月29日 (金) 長期留学・短期研修帰国報告会
- 11月30日 (土) 2020年度特別入試 (推薦入試)
- 12月3日 (火) 定期健康診断 (4日)
- 12月6日 (金) 合格発表 (編入学マレーシア・ツイニング・プログラム入試)
- 12月6日 (金) ムロランマテリア研究会
- 12月7日 (土) 学内合同業界研究会・第2弾
- 12月9日 (月) 北海道地区国立大学教養教育連携実施事業における令和元年度後期の双方向遠隔授業に係る授業参観期間 (20日まで)
- 12月10日 (火) 室蘭工業大学記者懇談会
- 12月11日 (水) アカデミックハラスメント防止講演会
- 12月13日 (金) 第49回室蘭工大国際セミナー
- 12月13日 (金) 講演会「Android HIV: Repackaging Malware for Evading Machine-Learning Detection」
- 12月13日 (金) 令和元年度ガラス工作室見学・相談会
- 12月13日 (金) 日本分析化学会北海道支部主催「公開セミナー」
- 12月13日 (金) 合格発表 (推薦入試 I A・I B, 推薦入試夜間主コース)
- 12月21日 (土) 第43回蘭岳コンサート
- 12月22日 (日) バイオ実験遺伝子検査

学外行事

- 11月25日 (月) 令和元年度胆振・日高管内高大連携推進協議会 (室蘭)
- 11月26日 (火) 第17回道内工科系大学・学部と高専との教務関係実務担当者情報交換会 (札幌)
- 11月26日 (火) 一般社団法人日本技術者教育認定機構創立二十周年記念シンポジウム・懇親会 (東京)
- 11月27日 (水) 国公立大学振興議員連盟第16回総会 (東京)
- 11月27日 (水) 第26回アジア・太平洋地域宇宙機関会議 (APRSAF-26) (28日まで:名古屋)
- 11月29日 (金) 第55回国立工業大学長懇談会 (東京)
- 12月1日 (日) 台湾・国立台中科技大学100周年記念式典・学術交流協定締結調印式 (台中)
- 12月2日 (月) 令和2年度大学入学者選抜大学入試センター試験入試担当者連絡協議会 (第2回) (東京)
- 12月2日 (月) 北海道経済連合会北海道産学官連携シンポジウム (札幌)
- 12月3日 (火) 令和元年度室蘭工業大学同窓会・札幌支部共同主催、水元技術士会講演「第7回技術講演会 これからの未来をともに描こう!北海道MONOづくりビジョン2060 ~「ものづくり」から「価値づくり」~ (札幌)
- 12月4日 (水) 北海道留学生交流推進協議会総会 (札幌)
- 12月6日 (金) 第70回国立大学工学部長会議・総会運営委員会 (熊本)
- 12月6日 (金) 第16回国立大学法人等監事協議会総会 (仙台)
- 12月6日 (金) 大学ブランド戦略セミナー (東京)
- 12月11日 (水) オープンイノベーション・チャレンジピッチ2019in北海道 (札幌)
- 12月11日 (水) 第67回北海道地区大学体育協議会第1回協議員会 (帯広)
- 12月11日 (水) 北海道経済連合会講演会「2020年北海道経済の展望」 (札幌)
- 12月11日 (水) 大学改革支援・学位授与機構 大学経営手法に関する共同プロジェクトキックオフミーティング (神戸)
- 12月12日 (木) 出資法人等監事・監査役、予算執行担当理事に対する平成30年度決算検査報告説明会 (東京)
- 12月16日 (月) ~地(知)の拠点大学による地方創生推進事業 (COC+) シンポジウム~若者の道内定着に向けた展望 (札幌)
- 12月17日 (火) 令和元年度第1回北海道COC+コンソーシアム協議会 (札幌)
- 12月20日 (金) 北海道室蘭栄高等学校SSH (室蘭)
- 12月21日 (土) 第28回室蘭工業大学テクノカフェ (札幌)

編集後記

◆ 教職員の皆様からの随想，提言等の御寄稿，あるいは学報への御意見，御希望，また，日頃感じていることなど多数お寄せくださるようお待ちしております。

(リンク先：総務広報課総務広報係，E-mail：koho@mmm.muroran-it.ac.jp)

(総務広報課総務広報係)



室蘭工業大学のキャラクター「ムロびよん」

■編集発行 室蘭工業大学総務広報課
〒050-8585 室蘭市水元町27番1号 電話 0143-46-5014

■印刷所 株式会社日光印刷
電話 0143-47-8308